

## 令和2年度 第1回島田市立学校給食センター運営委員会会議録

- ・日 時 令和2年7月1日(水) 午後3時~4時05分
- ・会 場 中部学校給食センター研修室
- ・出席委員 岩ヶ谷耕司会長、小島育乃副会長、石田昌史副会長、原喜恵子委員、磯貝隆啓委員、本杉直文委員、水野剛委員、園田博人委員、八木克典委員、近江泰久委員  
佐野聖乃委員、矢入陽子委員
- ・事務局 濱田教育長、中野教育部長、鈴木学校教育課長、高橋学校給食課長、野末主任栄養士、村松主査、倉林主査、家田係長

### (議事内容)

#### 1. 開会(司会)

司会より、委員14人中12人出席しているため、島田市立学校給食センター運営委員会の会議の成立を報告する。

#### 3. 挨拶(教育長)

みなさん、こんにちは。お忙しいなか出席いただきましてありがとうございます。また委員就任誠に感謝申し上げます。学校給食に係ることについては、昨年度給食費の値上げについてこの委員会で協議いただきました。コロナの影響で長い間休校となりました。3月2日から春休みを挟んで5月20日まで休校いたしました。当然その間給食も休止となりました。生産者の皆さんには本来買い上げなければならないものを買い上げられずご負担も強いたことと思います。子供たちにとっても楽しみにしていた給食が食べられなかった。それから、なかには、家庭の影響で給食に若干頼っている方たちもいますので、心配しておりました。休校は給食だけに影響を及ぼしただけでなく、学習にも影響を及ぼしております。長い間の休校による学習の遅れが心配になりますが、各学校が工夫してくれております。一つは夏休みを2週間ほど短縮して授業を行うこと、それ以外にも工夫しております。学校では授業時数が決まっておりますが、それ以外に余剰時数というのを持っています。それらをうまく活用したり、行事や授業を効率的に行いながら、今年度やらなければならない授業については遅れがでないようやる目途をたてています。そういう意味では安心していただけたらと思います。しかし、今後、第二波、第三波がきたとき、休校が強いられた時には心配が残っております。給食については、再開後は、子供たちは給食を食べることができております。三密回避ということで、みんな前向きに食べるとかあまりおしゃべりは避けてと今までとは違った形ですが、給食の提供ができております。今日も強い雨があった訳ですが、給食と天気は若干関係がありまして、過去には冬野菜の価格が天候不順により高騰しまして、給食費が大変だ

ったということもありました。今年は天候不順にならないで農作物が順調に育ってくればいいなと思っております。また農協さんにはご協力いただかなければならないこともあるかもしれませんが、よろしくおねがいいたします。もう一つ南部学校給食センターのことについてお伝えしなければなりません。今年、南部学校給食センターは新しい機器設備更新や工事を計画しておりましたが、工事は1ヶ月程度かかるため、中止しました。なぜかというところ夏休みが短縮され、子供たちの登校日が増えました。工事を実施すると、2週間以上給食の提供ができなくなります。子供たちを第一に考え、夏の暑い時期にお弁当を持ってくるとの選択肢もありましたが、お弁当を持ってきて傷んでしまって、食中毒を起こしてしまう心配もありますので、予算をつけておりましたが、工事は来年にし、給食を提供することといたしました。子供たちの学習、給食を優先した対応をとっております。これからも安心して食べられる給食の提供に努めていかなければならないと思っております。子供たちを取り巻く食環境というのは様々な課題もあります。偏食、朝食を食べてこない、個食、一人で食べるという課題があり、食育という学校の指導のなかで少しでも解決できるよう努めていけたらと思っております。子供の食というのは健康のうえでも大事なことです。これからも大事にしていきたいと思っております。あと、地産地消も島田市では重視しております。生産者の皆様にもご協力いただきながら取り組んでおります。特にお米は100%島田産です。他市では地産地消というところ、「地元の」解釈が静岡県産としているところもあります。島田市では島田市で採れたものを地産地消と言っており、厳しい目標をかかげております。重量ベースでは40%の目標を達成しておりますので、生産者の皆様にはご協力を願わなければなりません。もう一つはアレルギー食の対応でも大きく進んでいきます。南部でもアレルギー対応食の提供が始まります。予想していたよりも多くの対象者が集まりました。様々なアレルギーをもっている児童生徒にとっては他の子たちと同じ給食がとれるということで、大きな前進ができることとなりました。皆様にはこれからも子供たちの食について議論していただくこととなります。時には給食費の値上げがありましたら、臨時の会を開かなければならないこともあります。今年度あるというわけではございませんが、皆様のお知恵、お力を貸していただきたいと思っております。これからも積極的なご意見をいただきながらこの会が充実できたらと思っております。本日は本当にありがとうございました。よろしくおねがいします。

#### 4. 会長及び副会長の選出

会長に、初倉南小学校保護者代表 岩ヶ谷耕司様、副会長に大津小学校校長 小島育乃様、湯日小学校 教頭石田昌史様を選出した。

#### 5. 新会長挨拶

運営委員会規約第5条第4項の規定により、これ以降会長が議長を務めた。

## 6. 説明・報告事項

### (1) 令和元年度学校給食事業の実施状況について事務局より説明

#### 事務局

最初に、この会であります学校給食センター運営委員会の組織及び業務等について説明いたします。

島田市では、島田市立学校給食センター条例を定めております。1ページになりますが、第5条、センターの適正かつ円滑な運営を図るため、島田市立学校給食センター運営委員会を置くとなっております。これを受けまして、次のページにあります島田市立学校給食センター運営委員会規則が定められております。運営委員会の所掌事務としまして、学校給食センター運営の基本方針に関する事、学校給食の栄養指導及び栄養改善に関する事等を審議していただきます。委員には、学識経験者、市立小中学校の保護者代表、小学校長、中学校長、そのほか、教育委員会が必要と認める者として生産者の代表、教頭会代表、栄養教諭により委員会が組織されています。任期は令和3年3月31日までとなります。これから1年弱ですが、よろしく申し上げます。

また、本日は、なるべく時間を短くしたいと思っておりますので、説明等は省略させていただきます。

それでは、(1) 令和元年度学校給食事業の実施状況について4ページをご覧ください。令和元年度学校給食事業の主だったものを記載してございます。なお、毎月、物資選定会・献立会議・調理員連絡会等を実施しております。

5ページをご覧ください。学校給食残食率について報告します。令和元年度小学校の残食率の平均が、4.51%、中学校は3.91%となります。小中合わせた平均が、4.29%となっております。島田市では残食率の目標を4%以下としておりますが、令和元年度は目標達成には至りませんでした。

6ページをご覧ください。学校給食における地産地消について報告します。島田産が17品目の34.69%となっております。重量については、42.84%です。島田市では、地産地消の目標値を40%としております。品目がまだ目標値に達していませんが、重量については達成いたしました。詳細につきましては次の7ページに載っております。

8ページをご覧ください。令和元年度学校給食普及啓発事業について5事業を実施しました。たくさんの参加をいただきました。このうち2番の中学生料理バトルは参加者の減少、参加校が特定されていること当初目的の中学生への学校給食への理解を図られたと考え、令和元年度をもって終了といたしました。

10ページ食物アレルギー対応食の実施について報告します。卵・乳製品・エビ・カニ・イカ・タコ・そば・ピーナッツの8品目の除去でおかずのみを提供しております。昨年度の対象者は15人となっております。昨年度は今年度からのアレルギー対応マニュアル改訂版の

施行に向けての周知を行いました。夏には講演会を行いまして、また学校や保護者等と面談を行い、周知を図っております。

11 ページ学校給食費の徴収状況について説明します。

1. 現年度ですが、平成 31 年度の給食費決算でございます。調定額、給食費として本来市に入らなければならないお金は 3 億 7797 万 9813 円で、市に収められえた金額が収入済額 3 億 7766 万 8924 円となっております。未納が 31 万 899 円、収納率は 99.92% となりました。現年度の収納率は非常に高い率を保っております。

2. 過年度ですが、過去の未納ですが、平成 31 年度において未納世帯数 24 件、調定額 103 万 8116 円、収入済額は 42 万 371 円、未納額は 61 万 7745 円、収納率は 40.49% の決算となりました。

12 ページについては、差し替えをお願いします。過年度学校給食費の徴収状況ということとで前ページの当初未納世帯 24 件の結果となっております。D、年度中に納付がなかった世帯というのは、行方不明や市外転出、市内にいるかどうかともわからない接触ができない世帯が 3 件ございまして、1 件は接触ができたが、納付いただけていない世帯でございます。この 4 件で 545,739 円の未納が残っております。

13 ページをご覧ください。学校給食放射能測定結果について報告します。平成 23 年の東日本大震災の放射能の問題があつて、平成 24 年度から食材の安心を確認するため、放射能検査を実施しています。4 回実施しましたが、結果はご覧のとおり、放射性物質は検出されませんでした。また 24 年度から過去 1 回も検出されておられません。

なお、昨年度当委員会に諮って今年度は 2 回実施し、その 2 回で放射性物質が検出されなかったら、来年度よりは検査を実施しないこととなりました。今年度の結果をもって来年度の計画をたてます。

**議長**

質問はございませんか？

**委員**

放射線測定ですが、今年度 2 回やって問題なければ来年度から行わないとのことでしたが、過去何回ほどやられているのでしょうか。

**事務局**

令和元年度は 4 回ですが、静岡まで検査に行っておりまして、段々と回数を減らさせていただいてありますが。中部・南部の 3 献立から食材を選んでおりまして 27 年度は 24 品目やっております。平成 28 年度から少なくなりまして 8 品目、29 年度 10 品目、平成 30 年度 4 品目 4 回です。

**委員**

子供が口にするものですから、2011 年から大分年月が経っておりますが、食材の安全に対処されていてありがとうございます。

#### 委員

残食率についてお伺いしたいと思います。1点は学校間格差が広いと思います。残しやすいものがあるのでしょうか。もう一つは学校に対する想いですが、学校の取り組み方が各学校にて違うのかと思います。若い先生が多い場合、無理強いをするわけにはいかないと、残っているとそのままということもあるかと思いますが。年がかわると残食の変化って多いかと思いますが。給食主任を中心に進めて食育が行われていると思います。各学校へのお願いになるのですが、無理強いをするわけではないけれど、残食を減らす工夫していただいて学校全体で給食に向かっていくと気運を高めていただいて、若い先生たちに具体的に方法を教えていただいて共通理解を各学校でとっていただければ、29年度や30年度のように4%以下に戻るのではないかと思います。

#### 事務局

残量の調査については、日々食缶を計量しております。それを統計としてまとめて栄養教諭が市内に4名おりますが、データとして食育の点で活用しています。共通して残量が多いメニューは栄養教諭が献立編成の時に考えて、工夫を加えております。

#### 教育長

平成20年21年ころ、残量が多くて、冬場ですと、15%残量がある学校がありました。4億3千万の給食費だったんですが、1割というと4300万位の食材が捨てられている状況でした。それをみた校長会が取り組みをはじめまして、残量を減らそうとしました。大きな方針としては、分け切り方式、一回食缶を分けて空にしようという取組と、またもう一つは、食べきりメニューの設定とか児童会生徒会が取り組みを行っていただけました。例えば今日はミニトマトだけは食べようという取組が行われました。そうしたことから残量が一気に減っていきました。以前に比べると少ない状況となっております。また残量が少しずつ悪くなってきたということは、当時の校長会の取り組みを継続させている学校と若干甘くなっている学校があるかと思いますが。ただあまり無理強いさせますと、アレルギーをもった子供など、子供の負担になります。各学校の、子供の状況に応じて行わなければならないことですので。栄養やカロリーを考えた給食ですので、残量は少ないほうが良いと思います。感想を含めたものでございます。

#### 委員（栄養教諭）

残るメニューとしては、野菜の和え物とか汁物とか、根菜が多いものとか。あとお魚メニューも学校間で格差がありますが、お魚も苦手な子が多いかと思いますが。月に1回は焼き魚とか煮魚とか食べやすいものを物資選定会で選ぶように工夫しています。

#### 委員

給食費の徴収状況についてですが、行方不明というのは外国人とかでしょうか。

#### 事務局

外国人ではありません。行方不明というか、私たちが追えていないということです。住んでいるお宅に行っても、ポストに郵便物がたまっており、住んでいるのかどうかわからない状

況になっております。

委員

住民票の異動はありますか。

事務局

住民票はそこにあります。

委員

そこに子供は住んでいますか？

事務局

子供はすでに独立していません。

委員

子供は卒業しているということですね。

事務局

そうです。未納が残っているだけです。

議長

それでは（2）令和2年度学校給食事業計画について事務局より説明してください。

事務局

16ページからとなります。

当初計画では、昨年度と同様の事業実施を計画しております。詳細はまた、14・15で御覧いただければと思いますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置として事業を変更せざるを得ない状況となっております。後程お話をさせていただきます。

16ページの献立計画・指導計画については、4月5月は臨時休業で、5月25日から給食を開始しておりますので、それ以降はこの計画にそって行っていきます。同様に17ページ給食時の年間指導ですが、栄養教諭が主になって行っていきます。

次に、18ページから20ページですが、個別の説明と重複することもあります。資料として学校給食の概要を載せさせていただきました。後程御覧いただければと思います。

次に21ページをご覧ください。令和2年度学校給食普及啓発事業についてですが、島田市では新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント等を自粛しております。学校給食においても親子料理教室、親子公共施設見学会、ふるさと給食週間試食会を中止しております。市民試食会については、6月実施予定については中止、今後については様子を見て決定していきたいと思っております。同様に生産者の6月の学校訪問も中止しております。1月の生産者の学校訪問については今後の状況に応じて、実施の可否を検討いたします。6の家庭教育学級試食会については各学校、各家庭教育学級の希望に応じて対応していきたいと思っております。お茶を使った給食メニューの提供については、通常どおりくろはんぺんお茶フライ等提供していきたいと思っております。

続いて食物アレルギー対応食の実施について、23ページをご覧ください。令和2年度から平成31年3月に改訂した島田市学校給食食物アレルギー対応マニュアルに沿って実施して

いきます。

昨年度と大きな変更点ですが、対象者が卵・乳・えび・かに・いか・たこ・そば・ピーナツの8品目のアレルギーを有している児童生徒で、8品目以外のアレルギーを有していても除去食の対象者となること、もう一点が学校給食においては学校でも完全除去対応を実施していくこととなります。南部学校給食センターでも今年度から除去食の提供を開始していきます。5月の給食開始と同時に除去食の提供を開始しました。除去食の対象者は中部学校給食センターで36人、南部学校給食センターで20人となっており、合計56人に提供しております。

24 ページ学校給食費は昨年度当委員会に諮って今年度より値上げをしました。

一食あたり小学校は15円増の274円、中学校は17円増の327円となり、月額小学校4558円、中学校5440円となっております、183回の給食費を11ヶ月にわけて徴収いたします。今回の学校臨時休校により、各学校183回の実施が難しくなりました。各学校の年間予定で、一番給食を食べられる学校についても180回を予定しております。183回と各学校の実施する回数との差額は学校を通じて各保護者に返金いたします。返金の事務については各学校の回数が確定してからとなりますので、3月になるかと思えます。

**議長**

ただ今の事務局からの説明につきまして委員の皆さまからご意見、ご質問はございますか。

**委員**

アレルギー検討委員会の議事録を見ましたら、生卵やトマトのアレルギーについて検討しているようでしたが、アレルギーは8品目以外にどのようなものが保護者申し入れがあったか。また人数はどのくらいいますか。

**事務局**

昨年度、8品目からむ子たちの面談をしております。100人程度面談させていただきました。8品目以外はいろいろありまして例えばトマトや魚類、ナッツ類など様々なアレルギーをもつ児童が多くいらっしゃいます。

**委員**

選択メニューはなくなったのか。また予定はないのか。やってほしいという声も聞くが。

**事務局**

5調理場あった時には年に1回くらい選択メニューをやっていたことがあります。センターになってからは規模が大きいですので、難しいです。

**委員**

次の日の学校の給食によって子供のテンションが違う。すきなものがあると喜んでいて、きれいなものがあるとテンションが低い。

残食率をみれば人気メニューがわかると思うが、それによってメニューをかえるのか。毎年献立を変えるのか。あまり子どもたちに人気がないものははずしていくのか。

**委員（栄養教諭）**

人気がなくとも、食べてもらいたいものをメニューに取り入れてます。

たけのことあらめの煮物などは、5月の決まった期間しか食べられないものなど、苦手な子も多く、給食でしか食べない子やはじめて食べるという子もいますが、季節を感じてほしくて、量や味付け等を工夫して食べてほしいなという気持ちで出しています。今日はゴーヤが出ましたが、食べたことがない子が多かったりしたのですが、苦みをなるべくとってと味付けを工夫したので、このゴーヤなら食べれると言ってくれたりします。食べないから出さないということではなく、季節を感じてもらいたくて、いろんな食材に挑戦してもらいたくて工夫をしながら食べてもらえるように、私たちも料理を提供するようにしています。

**委員**

栄養の面も考えて味わいも考えてをすごく大変だと思います。毎年たけのこの調理も変えるのですか？

**委員（栄養教諭）**

ちょっとずつ、量が多かったのか、とか味付けを変えたり。入れる具材をかえたり。ちょっとずつ変えながらベストのものを出していきたい。

**委員**

旬のものを出すのは教育にもなるから。

**委員（栄養教諭）**

旬のものを知ってもらうことも大事だし、いろいろ挑戦してもらうことも大切だし。学校給食は食の教育でもありますので。

**議長**

その他ご意見などはありますか。よろしいでしょうか。

それでは7. その他南部学校給食センター機器更新及び改修工事について事務局よりお願いします。

**事務局**

25 ページをご覧ください。令和2年度南部学校給食センター工事及び機器更新について先ほど教育長からもありましたが、新型コロナウイルスの影響で、夏季休業の短縮によって、当初予定していた事業を延期や一部変更をいたしました。工事については、来年度に延期といたしました。内容は南部学校給食センター給排水管取替工事です。予算額は1694万円です。老朽化した地下ピット内の給排水管の取替です。機器更新については、一部内容を変更して冬季休業中に実施することとしました。そちらに記載のとおり当初4種類の購入を予定しておりましたが、納期が3週間かかる1番の昇降式消毒式保管機を来年度に延期しまして残りの3種類を今年度の冬季休業中に設置することとしました。予算額は当初から変わって35,615万でございます。

**議長**



ご意見ご質問などはありますか。

それでは(2) 学校臨時休業中の学校給食の対応について事務局より説明をお願いします。

#### 事務局

学校臨時休業に係る学校給食事業について報告いたします。①については令和元年度3月の休業分です。また②～④については令和2年度となりますが、4月8日～5月20日まで、延べ25日間の休止となりました。まず①のキャンセルができなかった食材については、59万円ございます。これは市が負担しております。これについては国の学校臨時対策費補助金が創設されまして、3/4補助され、残り1/4については交付金を充てることでできます。休業中の調理員については、中部学校給食センターには正規調理員19人、会計年度職員調理員22人合計41人がおりますが、正規調理員については、市役所内で事務補助や市民病院保育所への派遣を行いました。主な事務としては、次亜塩素酸水の市内事業書への配布受付、定額給付金の通知発送事務、給付金の電話対応など行っております。また一部、希望しまして環境課のごみ収集業務、すぐやる課の道路維持作業、学校の業務員などの研修を行っております。会計年度職員につきましては、自宅やセンターでマスク、雑巾、手甲の作成を行い、最終的には児童用マスク870枚、大人用マスク約1,200枚、雑巾870枚等を作成いたしました。5月18日には、一年生870枚、全教職員へ650枚を教育長へ贈呈し、各学校で活用していただいております。5月25日給食を開始しましたが、教育長がおっしゃったとおり、前を向いておしゃべりをしないで食べるという状況です。また、牛乳パックも本来は洗浄してリサイクルにまわしますが、6月末までは洗浄はやめ、センターで回収し処分しております。7月からは通常の洗浄、リサイクルにまわすことにしております。休業の学校給食費については、年間実施回数と183回との差については今後保護者に返金することとしております。

#### 議長

ご意見ご質問などはありますか。

#### 委員

食材のキャンセルについて聞きたいのですが、どのようなものがキャンセルできなかったのか？地産地消のもので島田市の生産者に頼っているもので、キャンセルできなかったものがありますか？

#### 事務局

今回処分したものは、消費期限が短いものです。生クリームやカット肉等になります。

#### 委員

島田市の生産者でキャンセルに応じなかった人はいなかったはずですが、他に出すことができた人もいれば困っちゃって畑で捨ててしまった人達もいます。国の補助金が使えのなら積極的に生産者に制度を伝えてほしいです。誰が悪いわけでもないのだから、わかりましたと捨ててしまったりするのですが、給食用に生産しているので、その状況をわかってほしい。

すみません、キャンセルおねがいします。はいわかりましたで済んでいることですが、実はこっちは済んでる話ではないということをとわかってほしい。

**事務局**

2月28日に皆さんにキャンセルを申し出まして、快くかどうかはわかりませんが、応じていただきましたが、実際には廃棄せざるを得なかった方もいるというお話ですね。電話では快くのかたちではありましたが、実情をお伺いしてなるほどと改めて感じました。

**議長**

そのほかご意見等ございますか。

それでは以上をもちまして議事を終了しました。進行を事務局にお返しします。

**事務局**

次回は3月に予定しております。

本日はありがとうございました。